

全日本ロータス同友会
千葉県支部の皆さまへ



大規模自然災害への備えとして



MS&AD あいおいニッセイ同和損害保険

2023年度に発生した主な大規模自然災害（A D社）

- 2023年05月 能登半島を震源とする地震
- 2023年05月 千葉県南部地震
- 2023年05月 千葉県東方沖地震
- 2023年06月 台風2号（西日本～東日本）
- 2023年06月 埼玉県を中心とする雹災
- 2023年06月 九州・中国地方の大雨
- 2023年07月 九州・中国地方を中心とする大雨
- 2023年07月 秋田県を中心とする大雨
- 2023年07月 群馬県を中心とする雹災
- 2023年08月 台風6号(沖縄、鹿児島、福岡、ほか)
- 2023年08月 台風7号(大阪、兵庫、三重、ほか)
- 2023年09月 台風13号(関東から東北にかけて線状降水帯)
- 2024年01月 能登半島を震源とする地震
- 2024年03月 茨城県南部地震

【22年度・23年度比較】

車両保険

支払件数は1,756件減
支払保険金は335百万減

支払車両保険金
平均単価

22年度：約89万

23年度：約96万

2022年度 主要自然災害 総合計	受付 件数	支払 件数	免責 件数	解決 件数	解決率	未了 件数	支払保険金 (百万円)	支払備金 (百万円)	発生保険金 (百万円)
05/16(火)終わり終了時点	69,549	55,908	7,397	63,305	91.0%	6,244	49,332	5,015	54,347
車両保険 計	23,021	19,950	1,110	21,060	91.5%	1,963	17,755	899	18,654
火災新種保険 計	46,526	35,958	6,287	42,245	90.8%	4,281	31,577	4,116	35,693

2023年度 主要自然災害 総合計	受付 件数	支払 件数	免責 件数	解決 件数	解決率	未了 件数	支払保険金 (百万円)	支払備金 (百万円)	発生保険金 (百万円)
08/05(月)終わり終了時点	66,864	52,335	11,060	63,395	94.8%	3,469	54,910	8,449	63,359
車両保険 計	21,058	18,194	1,115	19,309	91.7%	1,749	17,420	1,125	18,545
火災新種保険 計	45,806	34,141	9,945	44,086	96.2%	1,720	37,490	7,324	44,814

自然災害における支払い保険金の傾向（A D社）

【台風・大雨（線状降水帯）】支払車両保険平均単価：約130万

2023年6月 台風2号 (西日本～東日本)	受付 件数	支払		解決 件数	解決率	未了 件数	支払保険金 (百万円)		発生保険金 (百万円)
		件数	免責 件数				支払保険金	支払備金	
08/05(月)むらひ終了時点	6,045	3,834	2,040	5,874	97.2%	171	5,195	167	5,362
車両保険計	1,668	1,477	186	1,663	99.7%	5	1,822	15	1,837
火災新種保険計	4,377	2,357	1,854	4,211	96.2%	166	3,373	152	3,525



台風2号と梅雨前線の影響で、各地で線状降水帯が発生、西日本から東日本の各地で河川氾濫や暴風雨による被害が発生

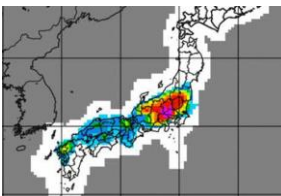
2023年9月 台風13号	受付 件数	支払		解決 件数	解決率	未了 件数	支払保険金 (百万円)		発生保険金 (百万円)
		件数	免責 件数				支払保険金	支払備金	
08/05(月)むらひ終了時点	2,951	2,066	771	2,837	96.1%	114	4,976	113	5,090
車両保険計	1,139	1,011	123	1,134	99.6%	5	1,411	1	1,412
火災新種保険計	1,812	1,055	648	1,703	94.0%	109	3,565	112	3,677



9月5日午後9時、日本の南海上で発生、8日夜には熱帯低気圧になり関東から東北にかけて線状降水帯による豪雨による浸水・がけ崩れによる被害をもたらした

【雹災】支払車両保険平均単価：約88万

2023年6月 埼玉県を中心とするひょう災	受付 件数	支払		解決 件数	解決率	未了 件数	支払保険金 (百万円)		発生保険金 (百万円)
		件数	免責 件数				支払保険金	支払備金	
08/05(月)むらひ終了時点	2,189	1,869	178	2,047	93.5%	142	1,554	74	1,628
車両保険計	1,731	1,487	118	1,605	92.7%	126	1,271	60	1,331
火災新種保険計	458	382	60	442	96.5%	16	283	13	297



6月28日関東地方で大気が不安定になり埼玉県中心に雹による災害が発生

2023年7月 群馬県を中心とするひょう災	受付 件数	支払		解決 件数	解決率	未了 件数	支払保険金 (百万円)		発生保険金 (百万円)
		件数	免責 件数				支払保険金	支払備金	
08/05(月)むらひ終了時点	16,123	13,852	672	14,524	90.1%	1,599	12,655	1,079	13,733
車両保険計	12,731	10,910	412	11,322	88.9%	1,409	9,608	894	10,502
火災新種保険計	3,392	2,942	260	3,202	94.4%	190	3,047	184	3,231



7月31日から関東を中心に大気が不安定となり落雷・突風が発生、群馬県内では前橋市や高崎市、伊勢崎市を中心に大粒の雹が降った

直近の自然災害における被害状況

【2024年1月1日発生 能登半島地震被災事例】

◆能登半島北部では、津波・建物崩落等により車両被害多数

～実際に被災された自動車関連業者さまの声～

- 被災時の動き方を決めていなかったため、従業員とその家族の安否確認がなかなかできなかった
- 生活を維持すること自体が困難だった
知り合い業者と水などの物資を共有してしのいだ
- 地震保険に加入していなかったため、被災した店舗の復旧もできず、廃業を決断した
- 被災直後は電話がつながらなく、高齢者のお客さまへの連絡が取るのに苦労した



【2024年7月5日発生 群馬県における雹災事例】

①車検・車販事業者さま

- ・2店舗における展示車両(計160台)に雹害が発生
※cmap降雹アラートにより、お客さまの車⇒納車
間近の車⇒高級車等の優先順位で可能な限り、
建物内へ避難を実施。一部の車両は損害回避)

②地場ディーラー業者さま

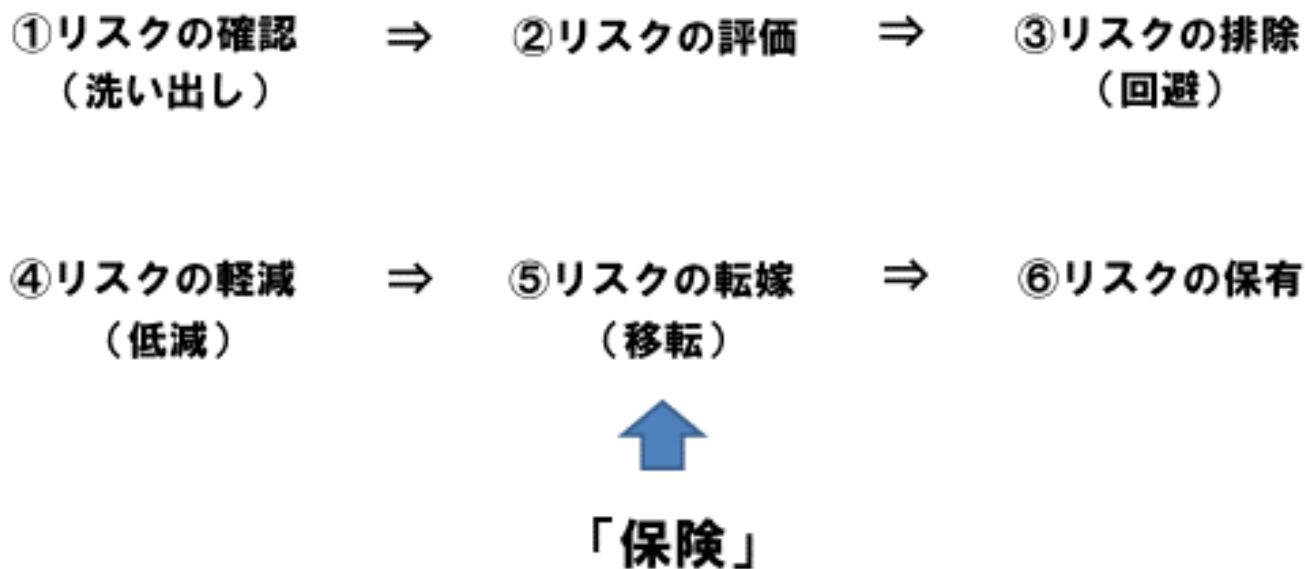
- ・展示・保管車両(約600台)に雹害が発生

大規模自然災害が来るまでの備えとして

- **大切な従業員（家族）を守る**＝社内研修実施
緊急連絡網の確認や避難経路・場所等の確認
- **大切なお客様を守る**＝全管理顧客への情報
提供実施から始める備え（保険含む）総点検
- **自分たちの地域を守る**＝同友会員の地域連携
地区会同士での連携や近隣自治会との連携
- **大切な会社が守れる**＝上記取組＋防災減災策
（BCP・事業継続力強化計画）の策定

大規模自然災害が来るまでの備えとして

リスクマネジメント（RM）フロー（サイクル）



社員の災害対策例

大地震発生時の行動原則（震度5強以上）

「災害時の社員行動基準」社員行動判断のポイント

※ 必ず安否報告！！

身の安全(自分・家族)を守る

余震に備え被害拡大防止

早期に安否確認

出勤前	交通機関利用前	自宅待機・避難 無理に出社しない	交通機関復旧状況から 出社可否を判断
出勤中	交通機関利用中	帰宅・出社・避難を 判断 無理に出社しない	交通機関復旧状況や 自宅・拠点までの 距離等から判断
業務中	拠点ビル内	会社待機・避難	帰宅可能な状況以降に 順次帰宅
	外出中	帰宅・帰社・避難を 判断	交通機関・道路状況や 自宅・拠点までの 距離等から判断
帰宅中	交通機関利用前	会社待機・避難	帰宅可能な状況以降に 順次帰宅
	交通機関利用中	帰宅・帰社・避難を 判断	交通機関復旧状況や 自宅・拠点までの 距離等から判断
休日・時間外		自宅待機・避難	

水災タイムライン（水災限定）

台風・大雨に備えて 水災タイムラインを 作成しましょう!

水災タイムラインとは、
水害時に発生する状況をあらかじめ想定し
共有した上で、「いつ」「誰が」「何をするか」に着目して、
防災行動とその実施主体を時系列で整理した計画です。

カンタンに
作成可能



※ 大きな被害をもたらす / 近年、大型台風が頻発しています

発生日	対象事例
令和元年10月	● 東日本台風（台風19号）
令和元年9月	● 房総半島台風（台風15号）
平成30年9月	● 豪雨・高潮（台風24号） ● 豪雨・高潮（台風21号）

🗨️ 水災タイムラインを作成するメリット

- 大切な従業員を守る
- 自然災害発生時の意思決定がスムーズ
- 被害を最小限に抑える
- 平常時の業務の見直し
- 他社との差別化
- 計画的な設備投資を考える機会
- 取引先からの信頼向上

例えば

水災タイムラインを作成した場合

防災品の準備等、台風・大雨等が接近する前に準備すべきことを整理し、確認することができます。

▶▶▶

平常時

警戒
レベル1

警戒
レベル2

警戒
レベル3

警戒
レベル4

警戒
レベル5

警戒レベル(1～5)の高まりとともに時系列でそのタイムラインにやるべきことを明確にすることができます。

台風・大雨の発生に備えて「いつ」「誰が」「何をするか」整理することができます!

水災タイムライン（水災限定）

★ 水災タイムライン(業種別)のご案内



水災タイムライン(業種別)の特徴

<今すぐ作成することができます>

- 災害時に備えた事業継続計画(BCP)の策定が企業にとって喫緊の課題となっています。しかし、事業継続計画(BCP)を策定することはハードルが高くその策定率は中小企業全体で約30%に留まっています。今回開発した水災タイムラインは、事業継続計画(BCP)と比較すると簡単に作成することができます。また「誰でも」、「簡単に」、「わかりやすく」作成でき、業種固有の行動計画を記載しているため実効性が高く、災害時の被害を最小限に抑えることが可能です。

事務所に壁貼りいただけるよう「チェックリスト(1/6)」と「別紙1~3」をA3サイズでご提供します。
平常時の備えについて一緒に確認し、作成をお手伝いします！



<チェックリスト(1~6)>



<別紙(1~3)>



対象業種

- 運送業 ● 介護 ● 保育 ● 障がい者支援 ● 病院 ● ホテル・旅館 ● 建設・土木業 ● 不動産業 ● 製造業 ● 飲食業 ● 塾 ● 小売業 ● ソフトウェア開発 ● **整備工場** ● アミューズメント施設 ● ガソリンスタンド ● ディーラー ● 神社・仏閣 ● 教習所

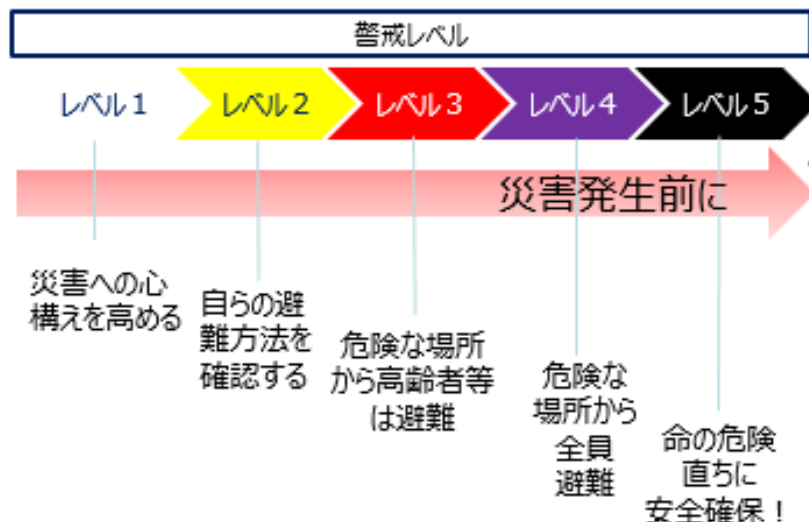
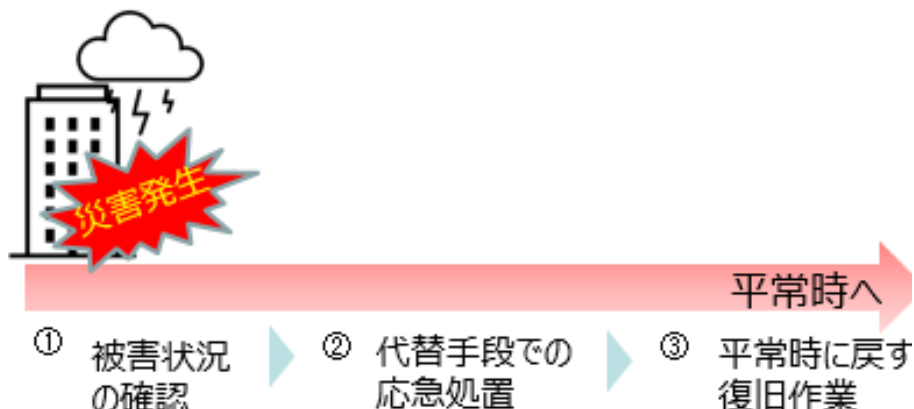
水災タイムライン（水災限定）

▶ BCPとタイムラインのちがい

• BCPとは

（主に**事後**対策）

BCP（Business Continuity Plan：事業継続計画）とは、大地震等災害・リスクの発生によって「組織全体の操業度が著しく低下し、復旧までに時間がかかる局面」を想定し、可能な限り早く企業・組織全体の操業度が回復できるよう主に①被害軽減策、②初動対応、③復旧対応を整理をする計画を言います。



• タイムラインとは

（主に**事前**対策）

タイムラインとは、災害の発生を前提に、防災関係機関が連携して災害時に発生する状況を予め想定し共有した上で、「いつ」、「誰が」、「何を**するか**」に着目して、**防災行動とその実施主体を時系列で整理**した計画です。防災行動計画とも言います。

参考：自然災害発生時における保険

会社	保険	地震	台風	水災	雹災
社屋	火災保険	△	○	○	○
設備什器	火災保険	△	○	○	○
社有車・代車	自動車保険	△	○	○	○
預かり車両	自動車管理賠償保険	×	×	△	×
販売車両	販売車両保険	×	△	△	△

個人	保険	地震	台風	水災	雹災
自宅	火災保険	○	○	○	○
マイカー	自動車保険	△	○	○	○

○：保険対応可能

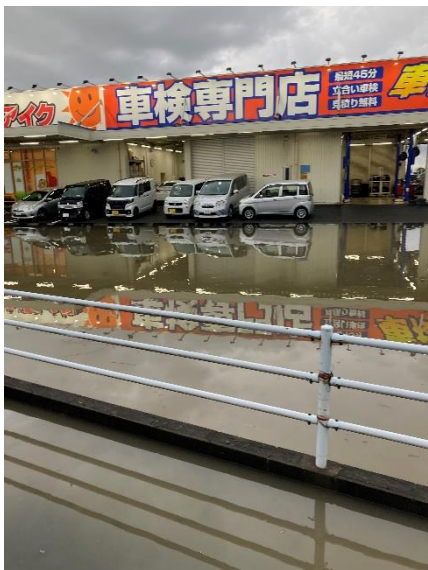
△：特約等で一部保険対応可能

×：保険対応不可

サンアイクさまの以前の台風被害



サンイクさまの昨年度水災被害



サンイクさまの対策

災害に関する方針

1. 基本

- (1) 災害が発生した場合、人命が最優先です。安全の確保と二次災害の防止を最優先とする。
- (2) 安否確認が必要な時は、部門長が確認し幹部ラインで報告する。
- (3) 家族があつての仕事です、家庭を優先してください。

2. 台風対応

- (1) 我が社は、水に沈みます。毎年7月に訓練を行う。
- (2) 車の移動は、事故に注意しながらカインズの二階駐車場に運ぶ。
- (3) 通勤の道が心配な時は、出勤しない、帰らない。

3. 地震災害

- (1) 人命が最優先です、自分と家族の安全の確保をしてください。
- (2) 状況報告を部門で集計し、部門長より幹部に報告をお願いします。

A

サンイクさまの対策

台風（水害）被害抑止行動マニュアル

【水害被害抑止の前提】

1. お客様の安全・財産を守る！ 2. サンイクの財産を守る！ 3. サンイクのスタッフの健康を守る！

1. 台風(水害)シーズンの備え

台風シーズン限定（8月～10月）で全車にナンバーを取り付けておく。 *仮ナンバーだけでは移動対応に間に合わないため

2. 当日の状況判断・準備他

(1)判断基準

①降水量の目安

1 mm (0.1cm)		傘がなくても我慢できる	ワイパーが必要	
2 mm (0.2cm)		傘が必要		
5 mm (0.5cm)		短時間でも傘が必要		
10 mm (1.0cm)	やや強い雨	ザーザーと降る 地面からの跳ね返りで足元がぬれる		
20 mm (2.0cm)	強い雨	どしゃ降り 傘をさしていてもぬれる	ワイパーを速くしても見づらい	
30 mm (3.0cm)	激しい雨	バケツをひっくり返したように降る	高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じ ブレーキが効かなくなる（ハイドロプレー ニング現象）	警戒開始 (準備)
50 mm (5.0cm)	非常に激しい雨	滝のように降る（ゴーゴーと降り続く） 傘は全く役に立たなくなる	車の運転は危険	避難・ 移動準備
80 mm (8.0cm)	猛烈な雨	息苦しくなるような圧迫感がある 恐怖を感じる		避難・ 移動開始

サンイクさまの対策

(参考)

* R5(2023).9.8 台風13号 茂原降水量

時刻	降水量(mm)
7:00	48.5
8:00	67.0
9:00	23.5
10:00	21.0
11:00	43.0
12:00	72.5

* 大潮の時期を中心に浸水や冠水に注意

満潮時の潮位が特に高い期間	
6月 22日～ 6月 28日 (新月:24日)	7月 7日～ 7月 13日 (満月:9日)
7月 21日～ 7月 27日 (新月:23日)	8月 6日～ 8月 12日 (満月:8日)
8月 20日～ 8月 26日 (新月:22日)	9月 4日～ 9月 10日 (満月:6日)
9月 18日～ 9月 24日 (新月:20日)	10月 4日～ 10月 10日 (満月:6日)
10月 18日～ 10月 24日 (新月:20日)	11月 2日～ 11月 8日 (満月:4日)

- 大潮（おおしお）：潮の干満の差が大きい。
- 小潮（こしお）：潮の干満の差が小さい。
- 中潮（なかしお）：大潮と小潮の間の期間。
- 長潮（ながしお）：上弦・下弦を1～2日過ぎた頃、干満の差が一段と小さくなる。
- 若潮（わかしお）：小潮末期の長潮を境に、干満の差が次第に大きくなり始めるため、長潮の翌日を若潮と呼ぶ。

サンイクさまの対策

②防災気象情報と対応行動



サンイクさまの対策

(2) 判断・準備行動

【警戒開始（準備）】

当日の雨量・予報、自治体発表の警戒レベルの状況により各部門長が集合し現状確認と対応協議・準備開始

目安：1時間の降水量が30mm以上・警戒レベル2の発表、成約車の水位状況

行動：部門毎出勤者数確認及び役割・配置検討、預かり車両及び移動車輛の台数と鍵確認及び準備（全員共有）

* マップ記載エリア担当部門：①整備 ②営業 ③営業 ④整備 ⑤钣金

その他：ガソリン携行缶・バッテリーチャージャーの確認と準備

【避難・移動準備】

各部門長が再度集合し現状確認と避難・移動準備の行動確認（営業継続可否判断含む）

目安：1時間の降水量が30mm以上が続き・警戒レベル3（高齢者避難）の発表

行動（全員共有）：車輛避難・移動が出来る状態にする（準備）

①来店中のお客様への事前アナウンス（作業中断・中止の可能性）

②インカムのチャンネルを全員4chに設定

③钣金工場脇及び高架下(南東)出入口のチェーンを外す

④全車のカギを開けエンジンを始動する

⑤全車のカギを開けエンジンを始動する

エンジンがかかった車はハザード点灯、エンジンのかからない車はボンネットを開ける

* エンジンのかからない車は、ガソリン給油・バッテリーチャージ

⑥積載車2台は正面出入口付近に移動（4キャン置くスペースない）

サンイクさまの対策

【避難・移動開始】

各部門長より営業中止と車輛避難・移動の指示

目安：1時間の降水量が30mm以上が続き・警戒レベル4（全員避難）の発表

行動（全員共有）：カインズ2階駐車場へ車輛避難・移動開始

- ①来店中のお客様へのアナウンス（作業中断・中止、帰宅案内）
- ②当日の作業・商談予約のお客様への連絡
- ③当日分アプリ予約の中止
- ④カインズへの2階駐車場借用連絡
- ⑤各担当ポジション・エリアヘリーダー（指示役）配置
- ⑥誘導員配置及び車輛避難・移動

* 钣金預かり車輛は動く車とレンタカーはカインズ2階駐車場へ（最終移動先として钣金工場スペースを確保）

* カインズ2階駐車場は奥側から詰めて駐車し、ワイパーを上げる（誘導員指示に従い駐車）

✓ 鍵は車中に入れたままにする（全車移動後に回収） ✓ 避難・移動車輛の写真を撮る

サンイクさまの対策



⑦部門担当エリアの避難・移動が完了したら他部門の車輛避難・移動の応援

⑧30分毎に状況を共有する（各ポジション・エリアリーダー）

サンイクさまの対策

3. 当日のお客様対応

(1) 「避難・移動準備」段階

①来店中のお客様に対して状況を説明する

『大雨が続いており、店舗駐車場や周辺道路の浸水が心配されます。警戒レベル3の「高齢者等避難」が発表されており、お客様の安全を最優先に考え、誠に申し訳ありませんが作業途中での中断や作業自体を中止させて頂く可能性がありますのでご了承ください。なお、その場合の続きの作業やご予約については、状況が落ち着きましたらこちらからご連絡をさせていただきます。』

②来店前のお客様に対して連絡する

『本日、〇時〇分より〇〇のご予約を頂いておりますが、大雨が続いており、店舗駐車場や周辺道路の浸水が心配されます。既に警戒レベル3の「高齢者等避難」も発表されており、お客様の安全を最優先に考え、誠に申し訳ありませんが来店頂いても作業途中での中断や作業自体を中止させて頂く可能性があります。なお、この後も大雨が続いたり、更に雨が強まった場合は本日の営業を中止させて頂くこともあります。本日のご予約をこの時点でキャンセルも承りますが如何でしょうか。』

【本日予約継続の場合】

『くれぐれもお気を付けてお越しく下さい。なお、本日の営業が中止となった場合は、改めてご連絡致します。』

【キャンセルの場合】

今後のご予約については、状況が落ち着きましたらこちらから改めてご連絡をさせていただきます。』

サンイクさまの対策

(2) 「避難・移動開始」決定段階

①来店中のお客様に対して状況を説明する

『依然として大雨が続いており、店舗駐車場や周辺道路の浸水が始まっております。警戒レベル4の「避難指示」が発表され、お客様の安全を最優先に考え、誠に申し訳ありませんが本日の営業をこれにて中止させていただきます。

続きの作業やご予約については、状況が落ち着きましたらこちらからご連絡をさせていただきます。お帰りの際はスタッフの指示に従って頂き、お気を付けてお帰り下さい。』

②来店前のお客様に対して連絡する

『本日、〇時〇分より〇〇のご予約を頂いておりますが、依然として大雨が続いており、店舗駐車場や周辺道路の浸水が始まっております。既に警戒レベル4の「避難指示」が発表され、お客様の安全を最優先に考え、誠に申し訳ありませんが本日の営業を中止させて頂くことになりました。この後のご予約については、状況が落ち着きましたらこちらからご連絡をさせていただきます。』

(3) お客様からの電話対応

①当日作業の予約

『本日は大雨の影響で店舗駐車場や周辺道路の浸水が始まっております。また警戒レベル4の「避難指示」が発表され、お客様の安全を最優先に考え、誠に申し訳ありませんが本日の営業を中止させて頂くことになりました。明日以降のご予約については、状況が落ち着きましたらこちらからご連絡をさせていただきますのでお名前とご連絡先をお願いします。』

②翌日以降の作業予約

『本日は大雨の影響で誠に申し訳ありませんが本日の営業を中止させて頂くことになりました。明日以降のご予約については、状況が落ち着きましたらこちらからご連絡をさせていただきますのでお名前とご連絡先をお願いします。』

サンイクさまの対策

(4) 浸水レッカー対応のお客様

出動中における積載車水没のリスクを回避するため直ぐのレッカー出動はしない。

『冠水道路の水位が下がってからのレッカー対応となります。まずはおお客様の身の安全を最優先に、可能であれば他の車輛の通行の妨げとならないような場所にお車を駐車し、お車の鍵を閉めてお客様は安全な場所に避難するか、ご帰宅ください。

〔サンイクで保険加入している場合〕

車両情報を印刷してお客様から聞いた情報を記入する（車の場所、鍵の場所を確認、連絡先電話番号）

〔サンイク以外で保険加入している場合〕

サンイクでレッカー対応してもらって構わないか（保険会社からレッカー代を支払ってもらえるか）をお客様から保険会社に連絡・確認してもらう（特に外資系保険会社）

⇒レッカー代を支払ってもらえない場合はレッカー会社にお客様に依頼して頂く

サンイクさまの対策

4. レッカー対応

水位が下がり状況が落ち着いてから対応（レッカー出動）する

- (1) 優先順位として最優先は道路（翌日の場合は朝一番・早朝）
- (2) 注意点としてレッカー対象車輛のエンジンは絶対にかけて、手押しで積み込み（エンジン故障の原因となるため）
- (3) レッカー対応要員としては、積載車1台につき3名（

*可能であれば内1名は営業マンとし、現地にて保険会社への連絡と担当営業となる旨をお客様にお伝えする

5. 引き上げ車輛対応

全損か分損かは保険会社が決めること！

- (1) 全損・分損が確定するまでは毎朝引き上げ（お客様預かり）車輛の窓・ドアを全開にして換気する

*お客様の財産を守ることの責任

- (2) 保険対応の車輛で水に浸かっていない場合の部品等の交換対応

外側：・ベアリング ・ブレーキ ・マフラー ・サイドワイヤー

内側：①シートを外しマットを上げる ②洗淨・除菌 *菌が残らないように

【室内洗淨】

必需品：①洗濯洗剤（除菌の強いもの） ②漂白剤 ③柔軟剤

サンイクさまの対策

6. その他

- (1) レッカー会社がサンイクに運び込んで構わないかの問い合わせがあった場合はお断りする
 ⇒段取りして車輛を並べているため、他社から運搬されてくると「誰の車でどうしたらいいか」分からなくなるため責任を取り切れず放置してしまう可能性もある
***但し、サンイクのお客様の場合は受け入れる**
- (2) レンタカー特約（一般的に30日）が付保されているお客様については1ヶ月以内に全て対応を終わらせる（導く）
 ～レンタカー特約期間中に乗り換え等をお客様に出来る限り検討してもらう時間を取ってもらうために～
 ・速やかに保険会社へ連絡して保険会社に車輛被害程度を確認してもらい、全損・分損の決定を急がせる
 ⇒結果、乗り換えへの営業開始時期が早くなり、お客様も安心する。
 ・2週間を目途に保険会社に決定させる
 ⇒長期化がお客様やサンイクの過大な負担を招くことになる * 1週目・2週目の対応が重要！
- (3) お客様から修理希望があった場合の対応
 車輛をお預かりした時点でお客様にご説明する
 「これから保険会社が被害程度の確認・立合いを行うが全損と分損がある」
 「全損は現在のお車の価値を上回る場合は全損となる。」
 ⇒乗り換えるのか、それでも修理を希望するのか確認する
 修理希望の場合：直るかどうかは分からない・約束できない（あとから故障が出てくる可能性もある）
- (3) 水害被害での車輛保険の等級取扱い
 (例) 3年契約の場合 (イメージ)
 通常事故で車輛保険適用：3等級 (30%) UP / 1事故 + 事故割等級 (20%) = 約5割 (50%) UP
 * 割り増しが3年継続される
 水害被害で車輛保険適用：1等級 (10%) UP + 事故割等級 (0%) = 約1割 (10%) UP

サンイクさまの対策

